

舗装工学ライブラリー7 舗装工学の基礎

正 誤 表

2012年11月22日

頁	節	行 (図表番号)	誤	正
i	まえがき	下から7行目	網羅して る わけではないが	網羅して る いるわけではないが
ii	執筆者	下から7行目1行目	第7章 阿倍	第7章 阿部
iii	目次, 第1章	1行目	1.1 諸論	1.1 緒論
iv	目次, 第2章	最終行		2.7.3 温度応力
iv	目次, 第3章	1行目	3.1 諸論	3.1 緒論
Vii	目次, 第6章	1行目	6.1 諸論	6.1 緒論
1	第1章	タイトル	諸論	緒論
34	例題2.1	解答	温度を20°C,	温度を10°C,
34	2.4.2 アスファルト混合物	例題2.1の解答下2, 3行目	Burger	Burgers
46	2.6.2 平板理論	例題2.9, 解答1行目	(MPa*m2)	削除
51	2.7.3 温度応力	下から5行目	温度応力	2.7.3 温度応力
55	コンクリート舗装の温度応力	式(2.74)	$C = 1-$	$C, C_x, C_y = 1-$
57	関連図書	[2]	土木学会本文報告集	土木学会論文報告集
57	関連図書	[4]	Van der Poal	Van der Poel
61	3.1 緒論	タイトル	諸論	緒論
64	地盤条件	下から6行目	円形等分布を作用させた	剛版荷荷を行った
65	例題3.2	解答	$196.6 \div 197$	$159.7 \div 160$
65	表3.2	札幌の6月	164.4	16.4
66	表3.3	6行目	東上	凍上
72	例題3.8	解答	17.2 - 16.8 0.9053 $R = \phi(0.9053) = 0.8173$	17.23 - 16.79 0.9084 $R = \phi(0.9084) = 0.8182$
73	例題3.11	解答	17.22, 16.78 $\delta R = \sqrt{0.1484/17.22} = 0.01707$ $\delta S = \sqrt{0.08617/16.78} = 0.02293$ $\gamma R = 1/(\dots \times 0.01707)$ $\gamma S = 1/(\dots \times 0.02293)$ $17.22/1.011 = 17.03$ $1.014 \times 16.78 = 17.01$	17.23, 16.79 $\delta R = \sqrt{0.08617/17.22} = 0.01704$ $\delta S = \sqrt{0.1484/16.78} = 0.02294$ $\gamma R = 1/(\dots \times 0.01704)$ $\gamma S = 1/(\dots \times 0.02294)$ $17.23/1.011 = 17.04$ $1.014 \times 16.79 = 17.03$
74	3.4.1 わだち掘れ	6行目	交通解放	交通開放
79	例題3.16	RD=の式	0.681	0.684
79	例題3.16	解答	2.933	2.946
81	図3.20	縦軸の単位	(%)	(ft/mile)
85	例題3.20	Pの3行3列	0.1	0.5
85	例題3.21	Pの1行1列	0.31	0.301
85	例題3.21	解答	{0.0906, 0.4747, 0.3225, 0.0706}	{0.0961, 0.4796, 0.3237, 0.0706}

頁	節	行 (図表番号)	誤	正
94	わが国の設計法	1行目	CBR	設計CBR
94	わが国の設計法	13行目から	この式は平均的な…代入する.	直轄国道における実態調査の結果に基づき、式(3.61)によって設計された舗装の信頼度は90%であると解釈されている[2]. 信頼度を75%、50%に下げたためには、式(3.61)のNを1/2倍および1/4倍にして代入する.
94	例題3.26	問題文	問題文	路床の設計CBRが8%の地盤条件で、10年間の累積49kN換算輪数を 4.02×10^7 としたとき、必要なTAを求めよ. ただし、信頼度を90%とする.
94	例題3.26	解答	解答	式(3.61)に、CBR=8、累積49kN換算輪数 $N=4.02 \times 10^7$ を代入する. $T_A = (3.84 \times (4.02 \times 10^7)^{0.16} / 8^{0.3}) = 33.8$ (cm)
94	例題3.26	1行目	CBR	設計CBR
97	表3.15	下から1行目	CBR	設計CBR
108	凍結深さ	5行目	W/m・K	W/m/K
129	表4.9	2行目	最大粒度	最大骨材粒径
164	路盤材料の要求性能	7行目	粗粒材料(open)	粗粒材料(coarse)
169	5.1 緒論	2行目	敷き均し	敷きならし
173	5.3.1 アスファルトプラント 路	4行目	積み込み	積込み
174	5.3.2 コンクリートプラント 機構と設備	1行目	練混ぜられる	練り混ぜられる
174	5.3.2 コンクリートプラント 機構と設備	2行目	混練	混練り
177	5.4.1 施工機械 締固め	6行目	用いられる	用いられる
177	5.4.1 施工機械 締固め	10行目	締固める	締め固める
179	5.4.2 路床の施工 施工上の留意点	11行目	置換	置換え
180	5.4.2 路床の施工 施工上の留意点	図 5.18	置換工法	置換え工法
180	5.4.2 路床の施工 施工上の留意点	図 5.18	置換材料の搬入	置換え材料の搬入
182	5.5.1 施工機械 アスファルトフィ	1行目	合材を敷均す機械	アスファルト混合物を敷きならす機械
184	5.5.2 基層および表層の施工 舗	14行目	敷ならし箇所	敷きならし箇所
187	5.6.1 施工機械	見だし	荷おろし	荷卸し
187	5.6.1 施工機械 コンクリート運搬	6行目	荷おろし、おろす	荷卸し、卸す
187	5.6.1 施工機械 コンクリート運搬	7行目	荷おろし機械	荷卸し機械
188	5.6.1 施工機械 敷きならし	2、3行目	荷おろしされた	荷卸しされた
188	5.6.1 施工機械 敷きならし	6行目	敷ならし	敷きならし
188	5.6.1 施工機械 締固め	4行目	敷ならされた	敷きならされた

頁	節	行 (図表番号)	誤	正
189	5.6.2 コンクリート舗装の施工	図 5.28	荷おろし	荷卸し
190	5.6.2 コンクリート舗装の施工 舗設	1, 3, 5行目	荷おろし	荷卸し
190	5.6.2 コンクリート舗装の施工 舗設	6行目	おろす	卸す
195	例題5.19	4. , 解答	荷おろし	荷卸し
195	例題5.20	解答	締固める	締め固める
196	例題5.23	1. , 解答	促進形	促進型
198	図5.37		断熱材料	遮熱材料
198	5.7.2 コンクリート舗装 連続鉄筋	2行目	締固めて	締め固めて
199	図5.39		荷下ろし	荷卸し
201	5.7.3 木質系舗装	3行目	締固める	締め固める
201	例題5.25	2	半たわみ舗装	半たわみ性舗装
204	表5.4		PI	PI
213	6.1		諸論	緒論
216	表6.2	縦断方向の凹凸	路盤路床の支持力の不均一	路床路盤の支持力の不均一
217	表6.3	ひび割れ	亀甲上ひび割れ	亀甲状ひび割れ
217	表6.3	ひび割れ	コンクリートの品質不足	コンクリートの品質不良
219	図6.7 説明文	4行目	一種で	の一種で
221	(b)わだち掘れ	下から2行目	窪み	溝
221	図6.12 説明文	5行目	不等沈下	不同沈下
222	(b)わだち掘れ	上から8行目	窪み	溝
222	図6.17 説明文	4行目	不等沈下	不同沈下
223	図6.19 説明文	5行目	不等沈下	不同沈下
223	図6.20 説明文	7行目	不等沈下	不同沈下
224	図6.21 説明文	5行目	不等沈下	不同沈下
229	表6.6	1行目	D20, D30, D45….	D200, D300, D450….
230	表6.7	2行目	プロフィロメータ	縦断プロフィロメータ
236	例題6.5 解答	2行目 式	$-1.48 \times 250.3 - 0.29 \times 300.7$	$-1.48 \times 25^{0.3} - 0.29 \times 30^{0.7}$
246	予防的修繕	2行目	シール注入工法	シール材注入工法
256	7.4 LCC	下から3行目	走行費用原単価(表7.1), 時間 価値原単位(表7.2)	時間価値原単位(表7.1), 走行 費用原単位(表7.2)

頁	節	行 (図表番号)	誤	正																																										
256	7.4 LCC	表7.1		<p style="text-align: center;">正</p> <p style="text-align: center;">表 7.1: 時間価値原単位 (円/台/分)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>車種</th> <th>平日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乗用車</td> <td>40.10</td> </tr> <tr> <td>バス</td> <td>374.27</td> </tr> <tr> <td>乗用車類</td> <td>45.78</td> </tr> <tr> <td>小型貨物車</td> <td>47.91</td> </tr> <tr> <td>普通貨物車</td> <td>64.18</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">注：平成 20 年価格</p>	車種	平日	乗用車	40.10	バス	374.27	乗用車類	45.78	小型貨物車	47.91	普通貨物車	64.18																														
車種	平日																																													
乗用車	40.10																																													
バス	374.27																																													
乗用車類	45.78																																													
小型貨物車	47.91																																													
普通貨物車	64.18																																													
256	7.4 LCC	表7.2		<p style="text-align: center;">正</p> <p style="text-align: center;">表 7.2: 市街地における走行費用原単位 (円/台/km)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>速度 (km/時)</th> <th>乗用車</th> <th>バス</th> <th>乗用車類</th> <th>小型貨物車</th> <th>普通貨物車</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>32.54</td> <td>96.41</td> <td>33.62</td> <td>29.42</td> <td>63.97</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>26.02</td> <td>85.31</td> <td>27.02</td> <td>26.00</td> <td>52.54</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>23.62</td> <td>80.32</td> <td>24.58</td> <td>24.26</td> <td>45.84</td> </tr> <tr> <td>40</td> <td>22.63</td> <td>77.76</td> <td>23.57</td> <td>23.30</td> <td>41.81</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>22.37</td> <td>76.71</td> <td>23.29</td> <td>22.85</td> <td>39.79</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>22.44</td> <td>76.57</td> <td>23.36</td> <td>22.74</td> <td>39.18</td> </tr> </tbody> </table>	速度 (km/時)	乗用車	バス	乗用車類	小型貨物車	普通貨物車	10	32.54	96.41	33.62	29.42	63.97	20	26.02	85.31	27.02	26.00	52.54	30	23.62	80.32	24.58	24.26	45.84	40	22.63	77.76	23.57	23.30	41.81	50	22.37	76.71	23.29	22.85	39.79	60	22.44	76.57	23.36	22.74	39.18
速度 (km/時)	乗用車	バス	乗用車類	小型貨物車	普通貨物車																																									
10	32.54	96.41	33.62	29.42	63.97																																									
20	26.02	85.31	27.02	26.00	52.54																																									
30	23.62	80.32	24.58	24.26	45.84																																									
40	22.63	77.76	23.57	23.30	41.81																																									
50	22.37	76.71	23.29	22.85	39.79																																									
60	22.44	76.57	23.36	22.74	39.18																																									
257	7.4 LCC	下から 4 行目	公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針	費用便益分析マニュアル(平成20年11月)、国土交通省道路局																																										
259	表7.6	最終行	M10 =H9+I10	I10 =H10+I9																																										
277	関連図書	上、1行目	[5]建設省、費用便益分析マニュアル(案)	[5]国土交通省道路局、費用便益分析マニュアル、平成20年11月																																										